

**令和5年度卒後調査まとめ
(令和3年3月 薬学科卒業生就職先事業所)**

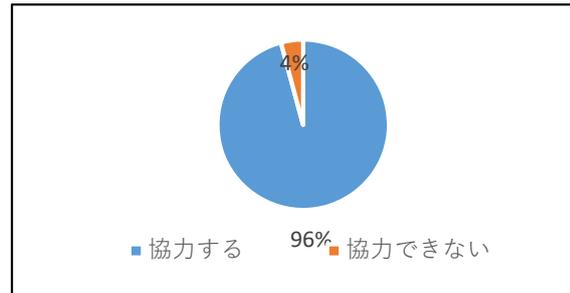
対象

卒後3年目 (R3.3月卒) の薬学科卒業生 (244名) が在籍する事業所	95
回答事業所数	72
回答率	76%

回答期間：令和5年12月13日（水）～令和6年1月19日（金）

1) 調査回答について

協力する	69
協力できない	3
計	72

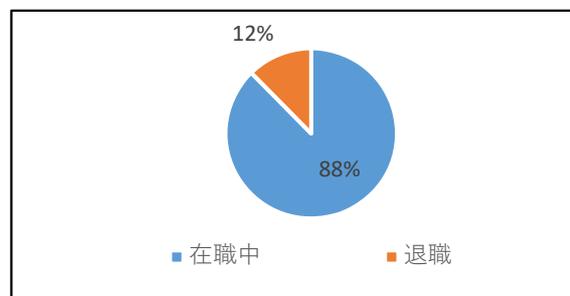


1)調査に協力できない理由

対象者がいない
1名は退職、1名は国試不合格のため入職していないため
個人情報のため、情報提供にあたり本人同意が必要になりますが、退職者と連絡を取ることが困難なため、情報提供出来かねる状況です。

2) 在籍状況について

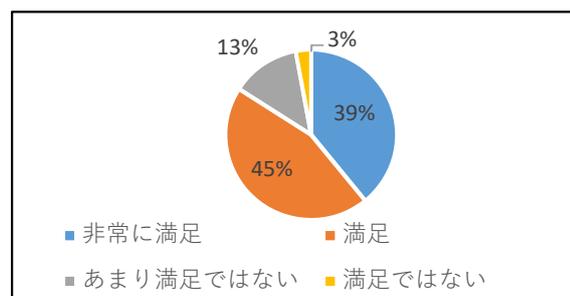
在職中	142
退職	20
計	162



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。

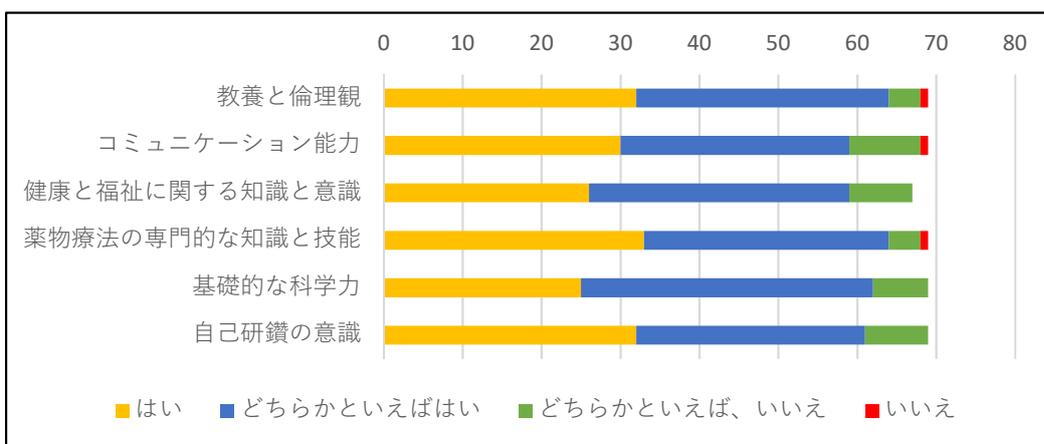
非常に満足	27
満足	31
あまり満足ではない	9
満足ではない	2
計	69



4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考にご回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
教養と倫理観	32	32	4	1
コミュニケーション能力	30	29	9	1
健康と福祉に関する知識と意識	26	33	8	0
薬物療法の専門的な知識と技能	33	31	4	1
基礎的な科学力	25	37	7	0
自己研鑽の意識	32	29	8	0



5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）

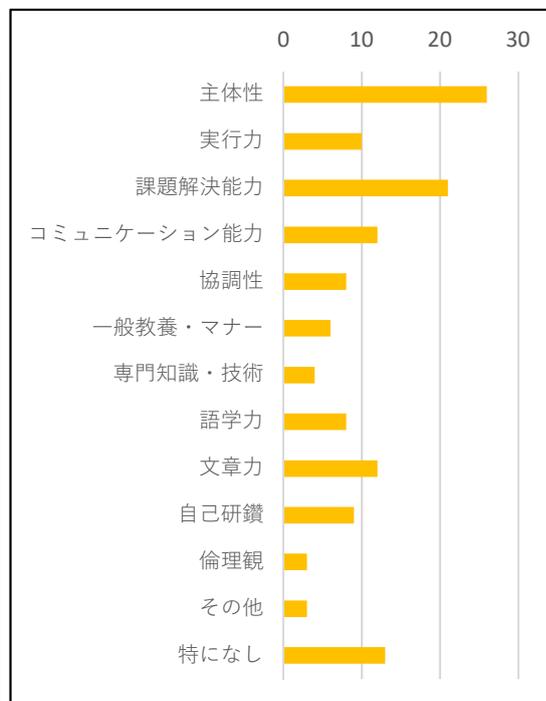
主体性	25
実行力	31
課題解決能力	16
コミュニケーション能力	40
協調性	47
一般教養・マナー	35
専門知識・技術	29
語学力	3
文章力	8
自己研鑽	28
倫理観	25
その他	2
特になし	3



6)対象者について良い点「その他」内容
薬剤師としての責務を理解している
責任感

6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	26
実行力	10
課題解決能力	21
コミュニケーション能力	12
協調性	8
一般教養・マナー	6
専門知識・技術	4
語学力	8
文章力	12
自己研鑽	9
倫理観	3
その他	3
特になし	13



6)対象者について不足する点「その他」内容
多くの先輩薬剤師に困まれやや控えめで大人しい
弁護士を通じて退職の意思を伝えてきており、上記の資質が不足している。
自分より劣ると思った人に対し、罵り、蔑み、罵声をあびせていた。特に協調性に欠け、他部署と頻繁にトラブルになっていた。

7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	7
基礎学力	17
適性試験の結果	6
主体性	26
実行力	16
課題解決能力	14
コミュニケーション能力	55
協調性	37
人柄	31
今後の可能性	11
語学力	0
取得資格	4
その他	3



7)採用選考するにあたり、重要視すること「その他」
対応力・適応力
責任感
医療人としての自覚等

8) その他意見

貴学の教育活動にはとても満足しているが、協調性は個人に差が出る部分であり、致し方ないと思われます。今後ともよろしくお願ひいたします。

貴学の学生は弊社に合う方が多いと感じておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

貴学の卒業生の皆様には大変ご活躍いただいております。今後も良縁続きますように何卒よろしくお願ひ申し上げます。

両名とも同年代の中でも優れており、ご縁があったこと改めて感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

チームワークを第一に考え、率先して動ける人材が薬局貢献度が高いと思います。社内研修は、そのような人材が育成できるよう、研修プログラムを構築しております。

控えめな学生さんが多い気がします。

知識や技術はある。臨床の場での出し方、活かし方が身に付けば良い。

学生が自ら考え、判断する力を養う機会を提供してほしい。

貴学に限ったことではありませんが、最近の若い人は、人と直接話をしたり、場の雰囲気を感じ取ったり、人とのコミュニケーションが苦手な人が多い気がします。あと、病院実習できちんとあいさつできない人がいます。

令和5年度卒後調査まとめ (令和3年3月 薬学科卒業生回答)

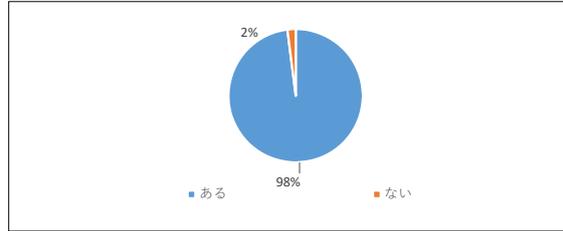
対象

卒後3年目 (R3.3月卒) の薬学科卒業生	244
回答者数	51
回答率	21%

回答期間：令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）

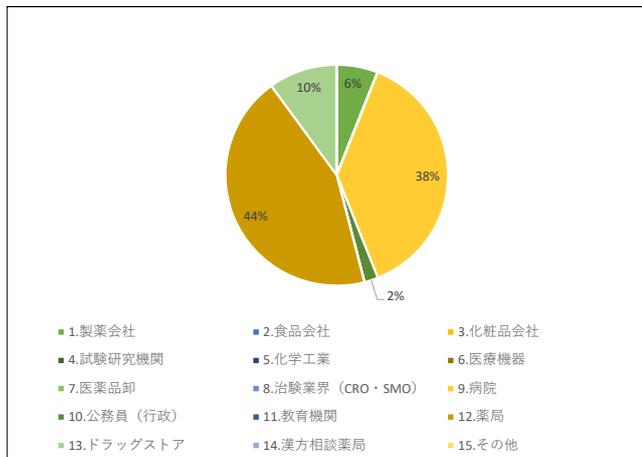
1) 卒業後、就業したことはありますか？

ある	50
ない	1
計	51



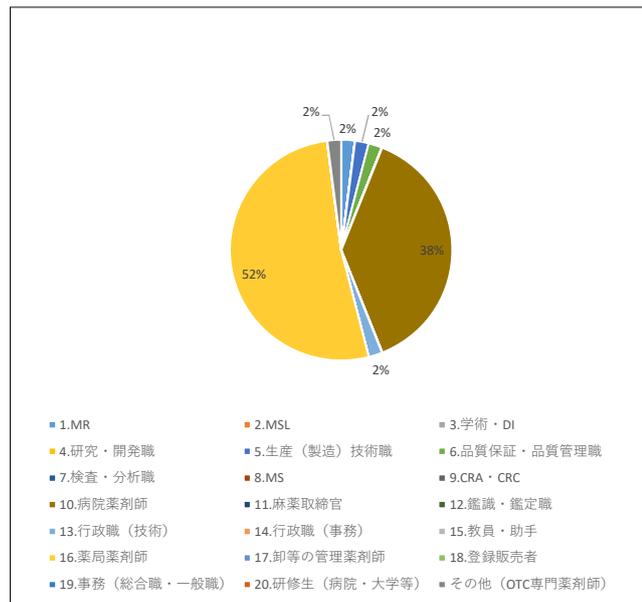
2) 卒業後、最初に就職した事業所の業種について選択してください。

1.製薬会社	3
2.食品会社	0
3.化粧品会社	0
4.試験研究機関	0
5.化学工業	0
6.医療機器	0
7.医薬品卸	0
8.治験業界 (CRO・SMO)	0
9.病院	19
10.公務員 (行政)	1
11.教育機関	0
12.薬局	22
13.ドラッグストア	5
14.漢方相談薬局	0
15.その他	0
計	50



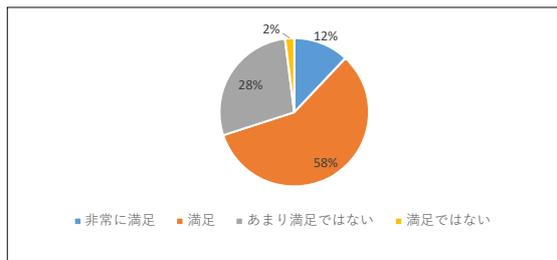
3) 卒業後、最初に就職した事業所の職種について選択してください。

1.MR	1
2.MSL	0
3.学術・DI	0
4.研究・開発職	0
5.生産 (製造) 技術職	1
6.品質保証・品質管理職	1
7.検査・分析職	0
8.MS	0
9.CRA・CRC	0
10.病院薬剤師	19
11.麻薬取締官	0
12.鑑識・鑑定職	0
13.行政職 (技術)	1
14.行政職 (事務)	0
15.教員・助手	0
16.薬局薬剤師	26
17.卸等の管理薬剤師	0
18.登録販売者	0
19.事務 (総合職・一般職)	0
20.研修生 (病院・大学等)	0
その他 (OTC専門薬剤師)	1
計	50



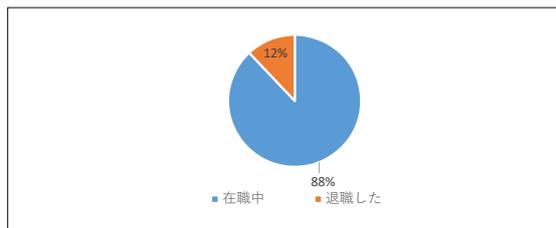
4) 就職先の満足度について選択してください。(満足度)

非常に満足	6
満足	29
あまり満足ではない	14
満足ではない	1
計	50



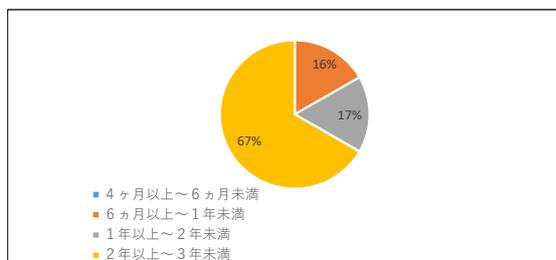
5) 卒業後、最初に就職した就職先の在籍状況について選択してください。

在職中	44
退職した	6
計	50



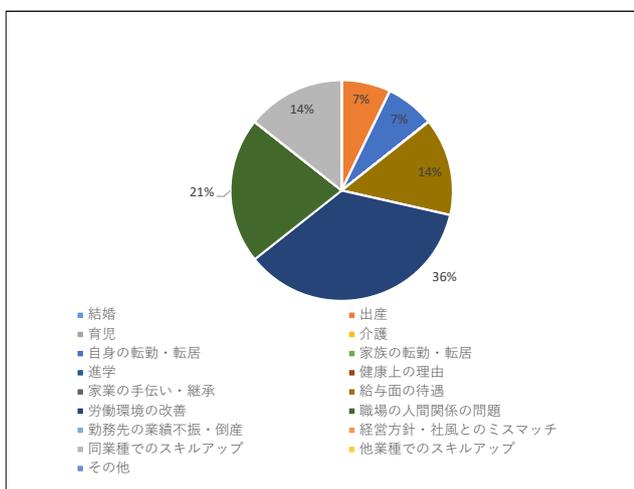
6) 5)で退職したと回答した方のみ退職した時期を選択してください。

3ヶ月未満	0
4ヶ月以上～6ヶ月未満	0
6ヶ月以上～1年未満	1
1年以上～2年未満	1
2年以上～3年未満	4
計	6



7) 退職の理由について、差し支えない範囲で選択してください。(複数回答可)

結婚	0
出産	1
育児	0
介護	0
自身の転勤・転居	1
家族の転勤・転居	0
進学	0
健康上の理由	0
家業の手伝い・継承	0
給与面の待遇	2
労働環境の改善	5
職場の人間関係の問題	3
勤務先の業績不振・倒産	0
経営方針・社風とのミスマッチ	0
同業種でのスキルアップ	2
他業種でのスキルアップ	0
その他	0



8) 設問6で退職したと回答した方のみ現在の就職先の業種をご回答ください。

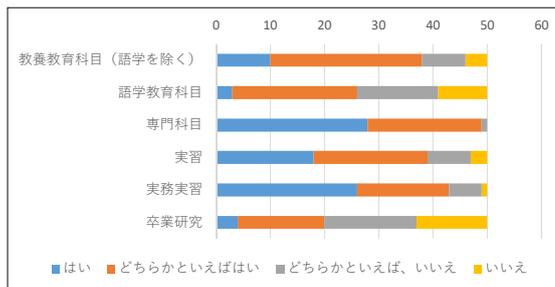
病院 1名、薬局 4名、ドラッグストア 1名

9) 設問6で退職したと回答した方のみ現在の就職先の職種をご回答ください。

病院薬剤師 1名、薬局薬剤師 5名

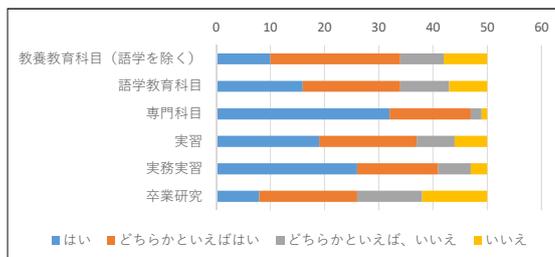
10) 在学中に学んだことは、就業先で役に立っていると感じますか？

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
教養教育科目（語学を除く）	10	28	8	4
語学教育科目	3	23	15	9
専門科目	28	21	1	0
実習	18	21	8	3
実務実習	26	17	6	1
卒業研究	4	16	17	13



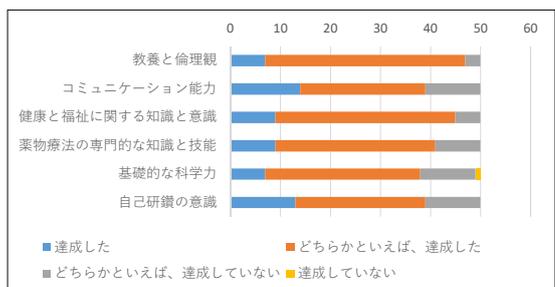
11) 在学中の学びで、更に深めておけばよかったと思うことはありますか？

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
教養教育科目（語学を除く）	10	24	8	8
語学教育科目	16	18	9	7
専門科目	32	15	2	1
実習	19	18	7	6
実務実習	26	15	6	3
卒業研究	8	18	12	12



12) 現時点において、本学のディプロマ・ポリシーに掲げている以下の項目の達成度合いはいかがでしょう

	達成した	どちらかといえば、達成した	どちらかといえば、達成していない	達成していない
教養と倫理観	7	40	3	0
コミュニケーション能力	14	25	11	0
健康と福祉に関する知識と意識	9	36	5	0
薬物療法の専門的な知識と技能	9	32	9	0
基礎的な科学力	7	31	11	1
自己研鑽の意識	13	26	11	0



13) 卒業教育で本学に期待することがあれば、自由に記入してください

実務ですぐに役立つ知識をもっと学びたかった。

大学として卒業生と在学生の交流の場（合同就職説明会のもう少し緩くした版のようなもの）を設けることにより、卒業生としても新卒獲得のための機会にもなり、在学生としても就職や国家試験の情報獲得の場として利用できるのではないだろうか。社会のコロナ情勢も落ち着いてきたことであるので、考える価値はあると思う。

卒業生へ向けた勉強会・研修会があれば良いと思います。

卒業後の勉強や、勉強以外にもやらなければならないことが沢山あります。学生のうちに、自ら色々吸収していこうとする力が大切だと思う。また学生のときの仲間は社会人になっても薬剤師の仲間です。たまに集まって会うと刺激をもらえます。仲間となにかをやり遂げるといったことも学生のうちにしていて良かったと思います。

14) 本学のキャリア教育及びキャリア支援等についてのご意見があれば記入してください。

薬局・病院以外の就職先の情報をもっと積極的に学生に発信してあげて欲しい。

教育委員長の叱咤激励なのかわかりませんが、学年丸ごと成績が悪いと言ってしまふ癖は直した方が良いかと思います。できない人たちの巻き添えを喰らって微妙な気持ちになっていた。研究職のなにデータの読み方が下手

低学年時に、薬剤師の就職先について、病院と薬局以外にどのような職種があるのか知りたかった。コロナ禍で大学での企業説明会の機会が少なかったため、例年どおりの機会がほしかった。

東北にあるので東北での就職がメインになるのは分かりますが、関東・関西での就職にも力を入れた方が良いと思います。やっぱり医療の中心部はやってることが多様です。

採用にも関わるお仕事をサポートしていますが、5年生のはじめのほうのうちから、時間があるうちに色々な病院や薬局だったり気になるところを見ておいたほうが良いと思います。東北の学生は就職の動きが遅いかなと思います。

コミュニケーション能力はどの就職先でも必要とされるスキルなので学生の頃からもっとディスカッションする機会に参加するべきだったと思いました。実習などグループの組み合わせが学籍番号前後ではなく、色んなパターンがあると良かったなと思いました。

15) 本学のカリキュラムに改善に関するご意見があれば記入してください。

過去問をやっておけば合格できる、というような定期試験の形は見直した方が良い。

年次が上がるにつれて、国家試験対策に力を入れた講義にシフトしていくのであれば、TBLをやるよりもPBLの時間を増やした方が臨床に出た時に役立つと思います。

他職種の学生(医師、歯科医師、看護)と学生時代話した時に大半が理解できないこともあり、臨床の常識としてもう一つ踏み込んだカリキュラムがあっても良いのではないかと感じた。